

AKITA Biz Forest

あきたBizフォレスト TOPインタビュー

TOP INTERVIEW

株式会社 山二
代表取締役社長 西村 幸彦氏

1970年秋田市出身。現在、株式会社山二の四代目社長を務める。大学卒業後は出光興産に入社し8年間勤務。2000年に株式会社山二に入社し、2017年に父の後を継いで社長に就任。現在グループ会社含む関連9社の経営に携わっている。企業メッセージ「人のそばに、夢のそばに。」を掲げ、秋田のリーディングカンパニーの一つとして活動。



「やってみる気持ち」を持ち、「革新」ではなく「挑戦」を!!

工藤 ちなみに昨今のコロナウイルスは、経営にどのような影響が及んでいますでしょうか？

西村 コロナ禍において、県外移動や自粛ムードがあり、人の移動がものすごく少なくなったのでまずはガソリンの消費が落ち込みました。自動車の燃料以外にも、航空燃料なども取り扱っており、そちらも同様に落ち込んでいます。また外食自粛や時短営業もあり、飲食事業も打撃が大きかったです。一方で「巣ごもり需要」でスーパーマーケット等の売上が好調だったこともあり、空調や運送などで用いる燃料等の売上は少しだけ伸びました。

工藤 なるほど。事業の中身により一長一短といった感じですね。

話は変わりますが、私たちは秋田市で起業家を増やすための取り組みを行っています。当地秋田のビジネス環境について、西村社長がメリットやデメリットに感じている点等があればお聞かせください。

西村 メリットは観光資源が多いこととおいしい食事が多いことだと思っています。ですが一方で秋田県は面積が広い県の割に、公共交通機関がそれほど発展しておらず、移動手段が少ないというデメリットもあります。

それに対して我が社では、観光地やお食事処への足としての車、ガソリンスタンドやレンタカー事業なども提供していますが、もっともっと快適に感じていただけるようなサービス提供を目指していく必要性も強く感じています。

工藤 なるほど。おいしい食事も観光も秋田は車移動が中心ですね。もし車移動が中心である秋田の観光に対するアイデアなどがあればお聞かせください。

西村 例えば我が社は全県にガソリンスタンドを展開していますが、観光地も同じように全県に分布しています。既にガソリンスタンドにプロントコーヒーなどの事業を併設していますが、秋田を訪れる方がより快適に感じていただけるようなサービス提供を付加することについては、地域の観光サービスに対する自社課題の一つと考えています。既にある場所や店舗を、観光客にも転用できるようなサービス提供ができれば、既存の経営資源の有効活用ができるのでは？と考えています。

工藤 次に西村社長が経営で重要視していることがあればお聞かせください。

西村 働く社員の将来に対して、より豊かな生活ができるようにするということが常々その実現に向けて取り組んできま

したが、十分でないところもあるかと思うので、現在も会社を整備するべく様々なことに挑戦していこうと取り組んでいます。もう一つは世界が2030~40年に向けて脱炭素を掲げる中で、業界が頭打ちになってくるということに対する代替対策です。近い将来に石油燃料の重要度が下がる中で、どう生き残るのか、どう成長していくのかは、非常に重要度の高い経営課題だと考えています。

工藤 カーボンニュートラルなどSDGs（持続可能な開発目標）に関係する話題があったので、もしSDGsなどを意識して取り組んでいることがあればお聞かせ下さい。

西村 お客様に対して、省エネ製品や省エネタイヤ、メンテナンス等を提案しています。会社としてもともと20年間環境方針を掲げて活動してきておりますが、SDGs宣言を通してもっと社会にアピールしなくてはならないとも思います。社員を大切に考える姿勢を経営理念に掲げております。これらの方針・理念をアップデートしてSDGsを達成できたらいいなと思っています。

工藤 起業を目指す秋田の方々にメッセージをお願いいたします。

あきたBizフォレストTOPインタビューは、秋田の起業家と企業環境を応援することを宣言いただいた100名以上の経営者の皆様を中心に、起業家に役立つ話題と起業家へのメッセージを対談形式でまとめたものです。

西村 私は4代目で事業を引き継いだ身ですが、経営をしてきて事業承継も起業も、経営の本質という意味では大半が共通していると感じています。何かを変えようとするとき、社内や業界から反対意見というのは必ず出るものです。そこで諦めずに「やってみる気持ち」を持つことが必要ですし、それを継続させることが重要だと思います。ただやってみるというだけでは事業として難しいですし、革新でなくて「挑戦」してほしいと思います。もう一つ、常に進化する人であり、早く見切りをつけられる人が長く成功していると考えます。言い換えると、大きな流れや理念、事業は長く続けながら、細かなところを変化させる人ということです。目標を実現する力と信念を持ち続ける力を

鍛えながら歩みを止めずに進む。また高い目標を掲げるだけでなく、足元をしっかりと見て一つ一つの課題を着実にクリアしてステップアップする。心の中で葛藤で「なりたいたい」と「ならなきゃ」という気持ちがあるかと思いますが、そういう時ほど一つ一つクリアしていくことが大事だと思います。**工藤** 大きなものを変えずに細かなところを進化させる経営。確かに情熱や気持ちの面も、事業をコンスタントに続けながらも細分化し問題を洗い出し、またそこを一つ一つ着実に手入れをしていくこと。本当に大事ですね。私なんかは常に全力で走っているタイプなので、意外に見落とす時もありそうです。気をつけます笑。

西村社長の趣味について教えていただきました。

西村社長は趣味として、歴史巡りをされているそうです。県内外の城郭、寺社、遺跡などといった歴史的遺構を巡りながら、当時の暮らしや当時の出来事、そしてそこに居た人たちがどのようなことを考え感じていたのか？などに想いをはせてみるのが好きだそうです。秋田にはそういった歴史的スポットが沢山あるので、これからも時間がある時は各地を巡って、秋田の歴史や文化を感じ学びにしたいとのことでした。

本日は貴重なお時間とお話しを本当に有難う御財増した。

インタビュー

合同会社ジェグルス(共同事業体ジェイワン) アントレプレナーコンシェルジュ 工藤 実

ライター 秋田大学2年 小林 恵大

企画 共同事業体ジェイワン(秋田市ビジネススタートアップ支援事業)

